

第46回 ヒューストン補習校大運動会

令和6年11月2日、ヒューストン日本語補習校第46回運動会が開催されました。開催直前まで雨が心配されていましたが、競技中は時折晴れ間も見えるほどでした。そして、閉会宣言と共に雨が降り出すという、まるで子供たちの熱い気持ちが天に届いたかのような日となりました。

今回は、新たな試みとして二部制で行われました。第1部では、幼稚部から小学部3年生までの子供たちが参加し、小さな体を一生懸命動かして走り、踊る姿がとても可愛らしく、見ている人々の心を温かくしてくれました。第2部では小学部4年生から中・高等部の生徒たちが出場し、少し大人びた迫力ある競技と力強い姿勢に、観客の応援にも熱が入ります。

激戦の末、第1部、第2部ともに紅組が勝利を収めました。最後まで全力で競技に取り組んだ全生徒に心から拍手を送りたいと思います。また、二部制という初の挑戦を成功させるために、準備や運営に尽力してくださった先生方や保護者の皆様にも、心より感謝申し上げます。

(補習校運営委員 鶴飼 博哉)



▲綱引き



▲大玉送り



▲紅白リレー



▲玉入れ

リレー式

ヒューストン日記

第242回 加藤 珠美さん



アメリカでの楽しみの一つといえば、旅行ではないでしょうか。特に、美しい景色や自然を感じられる国立公園は人気がありますよね。私たち家族も2023年のサンクスギビングホリデーを利用し、テキサス唯一の国立公園であるビッグベンドに行ってきました。ただ、今回私がご紹介したいのは目的地のビッグベンドについてではなく、目的地までの移動手段についてです。

ヒューストンからビッグベンドに行く手段として一番多く利用されているのは車かと思いますが、我が家は鉄道での旅を選択しました。アメリカ全土とカナダ主要都市を運行している旅客鉄道アムトラックです。ヒューストン駅から、ビッグベンドの最寄り駅であるアルパイン駅まで鉄道に乗り、アルパイン駅からビッグベンドまではレンタカーを利用しました。

ヒューストン駅はミニッツメイドパークの北西にあります。出発時刻が夕刻だったこともあり、とてもひっそりとした感じの駅でしたが、意外にも待合室は人で溢れかえっていました。しばらくすると列車の到着を知らせるアナウンスが流れ、まずはヒューストン駅で降りるお客さんが通されます。ホームに停車している列車はとて大きく、銀色の車体が夕焼けに照らされていました。さあ、いよいよ乗車です！指定された車両まで行くと、係の方がいて席に案内してくれました。そして荷物を置くと、すぐに夕食に案内されました。テーブルには真っ白なクロスとお花が飾っており、私の食堂車のイメージとは違いました。窓の外に流れるテキサスの景色を見ながら、前菜とメイン、デザートをいただきました。

私達は親子三人でファミリータイプの寝台個室を予約していたのですが、夕食が終わり個室に戻ると、座席だったところがベッドに変わっていました。ソファベッドが二つと、頭上に収納されているベッドが二つあり、

くつろぐには十分な広さです。寝心地はというと、よくある簡易ベッドを想像してください。背中に多少の硬さを感じつつも、列車の揺れが眠気を誘ってくれました。ちなみに、寝台個室のタイプによって違いはありますが、シャワーとトイレは部屋の中もしくは同じ車両についています。タオルも備えつけのものがああります。

途中サンアントニオで長い時間停車し、朝食をとった後、翌朝10時半頃にアルパイン駅に到着しました。ヒューストンを出発したのが夜7時頃だったので、およそ15時間半かかりました。正直コスパ、タイプ共に良いとは言えませんが、それでも鉄道の旅を選択して良かったと思います。一番の理由は、いつも運転に集中している夫、後部座席に一人で座っている子供と同じ目線で景色を楽しみながらおしゃべりし、ゆったりとした気持ちで目的地まで移動することができたからです。また、車よりも車高が高いので、車窓に広がる景色もさらに雄大に感じられました。皆さんも次の旅行の計画をたてる際には、鉄道の旅を選択肢の一つに入れてみるのはいかがでしょうか。

